

会 議 名	令和2年 今山大師祭 対策協議会 議事録		
作 成 者	岸上 光一郎	司 会 者	野中 健雄
開 催 日 時	令和2年 3月 22日(土) 15:00～	開 催 場 所	空海堂
出 席 者	(慶賛会会員、婦人部会会員、照山会会員が出席。出席者名、省略。)		

【 住職 挨拶 】

今日の出席者は「高野聖(こうやひじり)」だと思っている。高野聖とは、高野山から下りて各地で弘法大師の教えや素晴らしさを広めていった人々のこと。今日は大師祭へ向けて、総論の話をしたい。

【 慶賛会・佐藤会長より 】

今日は限られた時間ではあるが、みんなで大師祭へ向けた話ができればと思う。

【 住職より 】

・高千穂町でコロナウイルスの感染者が発生して2週間後が3月31日なので、銅像沐浴も4/2(木)にずらした。

・コロナウイルスの対策指針は、新聞報道などのメディア情報ではなく、厚生労働省(新型コロナウイルス感染症対策専門家会議)が公表している資料のみ。

(以下、住職より配布資料の解説あり)

- ・感染者の80%は軽症。
- ・クラスター(患者集団)を早期に把握しているのが日本。

・他国と比べ、日本は死亡者数の割合が低く抑えられている。
→日本は医療の質が高く、重症化しそうな患者の大半を検出し適切に治療できている。

・「感染状況が拡大傾向にある地域」では、一斉自粛などを検討する必要がある。
「感染状況が収束に向かっている(もしくはすでに収まっている)地域」では、「3つの条件が同時に重なる場(後述)」を徹底的に回避する対策をしたうえで、催しを開催してよいのが政府見解。

→現状、延岡市は「感染状況が拡大」しているのか?

「感染状況が収束に向かい始めている地域」ではないか?

後述の「3つの条件」が重ならなければ(適切な感染予防対策を行った上で)催しの開催は問題ないのではないか?

※重要：「3つの条件」とは

① 換気の悪い密接空間

② 多くの人が密集している空間

③ 近距離（お互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声

※上記①～③が「同時に重なる」場所は回避しなければならない。
→それぞれが単独で発生しているのであれば問題ない。

あくまでも 3つの条件が重なったら活動自粛対象になる。
→今山大師祭は屋外行事が主体。上記①には該当しない。

札幌雪まつり自体は「屋外」のイベントだが、周辺の①～③の条件が重なった場所（雪まつり会場以外の屋内）で感染が拡大している。

・開催する際は、人が集まる場の前後も含めた感染予防対策が必要。
大師祭では今年2月に開催された「延岡 花物語」のイベントを参考にしながら実施したいと思う。

また対策は大事だが、同時に現実的な生活のリスクも考えなければならない。
（例：今山の階段手すりは直接手が触れるため感染リスクがあるが、撤去すると階段を昇降する際のリスクが高くなる。コンビニのおつりも感染リスクが高いなど。）

【 質疑応答 】

Q（銅像裏の）うどんやビールの販売は予定通り行うのか？

→住職より：今のところ実施予定。今後保健所の指導を仰ぎながら判断したい。

Q 福引所のスタッフは65歳以上の高齢者が多いと思う。気を付けたほうがよいことはないか？
また階段手すりの消毒はどうするのか？

→住職より：一概に65歳以上と区切る必要はないと思う。高齢で抵抗力がある方もいれば、若くても抵抗力が弱い方もいる。各自おのおの年齢は関係ないので、自身の健康状況の管理をしっかりと頂きたい。なお福引所で手袋の着用はよいが、お客様が違和感を持たないような形で対応してもらいたい。

手すりの消毒について

- ・花物語のように会場内のいたるところに消毒液を配置、各自で消毒してもらえばどうか。
- ・（会場内で手を触れる場所は手すりだけではないので）手すりのみ消毒しても、感染予防策として現実的には限界があるのではないか。
- ・仮に実効性がなくとも定期的に手すりを消毒している「姿勢」を見せることが大切ではないか？

など会場内より意見複数あり。 今後協議の上、具体的な対策を検討する。

【 江上副会長より 】

もちまきと演芸の実施については銅像沐浴後に決めます。

【 吉田名誉会長より 】

あらためて約 180 年前の医学が進んでいなかった時代に、今山大師像が「疫病封じのお大師さん」として建てられた原点に帰りたい。慶賛会のみなさんは住職がやると決めたら、ついてきて欲しい。

【 末長さんより 】

宣伝活動について、もっと人数が欲しい。

→住職より：今は音を出した宣伝はできていないが、人数を含めて検討をしたい。

【 木村副会長より 】

山のお祭りの意味を考えたい。パレードや のぼりざる物産展は中止になったが、そもそも本来は「今山大師」を基にした山のお祭りから始まった。慶賛会が心を一つにして、クチコミで大師祭や採燈護摩供法要を広げてもらいたい。みなさんに護摩木を手にしてお祭りに参加してもらいたいと思う。

【 牛島副会長より 】

コロナウイルスの感染が拡大している中、不安に思う人々に対し、どう工夫して大師祭を実施するのか、これから丁寧に「やっといこう」という気持ちを伝えていきたい。

以上